

静岡型スポーツ・イン・ライフ推進パートナー 認定制度(案)

スポーツ推進計画上の位置づけ：
基本施策1-2-②「職場における運動・スポーツの普及促進」

現状・課題

静岡市では、「スポーツが持つ力で、誰もが健康で豊かな生活を実現する」を基本理念とした第2期静岡市スポーツ推進計画を定めており、「する・みる・ささえる」の好循環を目指した、静岡型スポーツ・イン・ライフを推進している。

働く世代(特に20~40代)のスポーツ実施率が低いため、この世代に向けたアプローチをする必要がある。

(令和3年度 市民意識調査 働く世代:48.6%、全世代平均:55.9%)

取組内容

本取組では、スポーツ実施率が比較的低い、働く世代(特に20~40代)をターゲットに、スポーツ実施率の向上に資する優れた取組を募集、認定、表彰し、広く市内の企業・団体へ発信する。

認定方法

静岡市スポーツ推進審議会委員の選考により決定。

認定基準は右表を原案に、今後精査していく。

【静岡市スポーツ推進審議会委員(全15名)】

委員長：常葉大学 教育学部 教授 木宮 敬信

副委員長：静岡大学 グローバル共創科学部 准教授 祝原 豊

他、学識経験者、関係行政職員、スポーツ団体、市民委員

認定・表彰

企業・団体にスポーツに関する取組みを継続していただくこと、その取組みを更に広げてもらうことを目的に、ランクアップのできる認定制度を取り入れ、その中で特に優良な取組みをモデル企業・団体として、表彰する。

認定企業・団体に対しては、優良事例の紹介、スポーツに関する情報共有ができるようなメルマガ配信も検討してく。

※認定のランクアップについては、審議会での相談事項としたい。

(表彰式の様子)



対象

- (1) 静岡市内に事務所・活動拠点等があること
- (2) 課税団体においては、租税公課の滞納がないこと
- (3) 取組内容の公表、事例集への掲載が可能であること
- (4) 暴力団、暴力団員等と密接な関係を有していないこと

認定基準(案)

以下に定める条件に1つでも合致するものであること。

- (1) 構成員等がスポーツに関わるきっかけづくりに繋がっているか
- (2) 構成員等のスポーツへの親しみやすさに繋がっているか
- (3) 構成員等がスポーツに関わる習慣化に繋がっているか

スケジュール

- | | |
|--------|-----------------------|
| 3月中旬 | 第3回スポーツ推進審議会にて、要綱等を諮る |
| 6月~9月 | 企業・団体募集 |
| 9月~10月 | 選考委員会(書面審査を想定) |
| 11月~1月 | 認定企業・団体への通知、インタビュー |
| 2月中旬 | 静岡市グッドパートナーズ表彰式 |

(参考)取組例

<株式会社NISHI SATO>
子育て女性の多い同社では、「健康づくりを並行して行える職場」を目指し、就業時間内に週2回のヨガ教室の開催と、朝礼での10分ヨガを取り入れている。



<株式会社アシックス>
アプリを活用したアシックスグループウォーキングバトルや、企業向け体力測定会を開催し、社員が競いながら楽しく運動をできる環境を作っている。



(認定ロゴイメージ)

